

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用などで差別しない体制を構築するとともに、平等な人事制度を運用している。 ・必要な研修を実施し、各相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・定期的に研修を実施し、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者含め共有し、長時間労働の是正に向け、労働生産性の改善・向上などに対応している。 ・定時退社日を週2日設定している(本社部門)。									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現時点で外国人労働者は不在。 ・外国人労働者の受け入れに適切に対応するため、処遇や労働環境を整備している。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・労働安全衛生講習会を実施するほか、社内システムを活用し、周知徹底している。								3		8							
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針を策定し、理解促進のための講習会および研修を実施している。 ・定期的なストレスチェックと産業医との面談を実施している。								3									
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できる場を提供している。 ・現状把握などのために意見交換の場を設けている。 【予定】くるみんマークを取得する。					5.1 5.5					8.5		10.2 10.3					
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修を実施している。 ・自己啓発を推進するため、通信教育費用の最大9割を補助する制度を設けている。				4	5.5					8	9						
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法や労働契約法の改正内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に則っている。					5.5					8.5		10.2 10.3					
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・定期健康診断の実施のほか、人間ドックの受診や生活習慣病予防検診などへの会社補助を実施している。									3		8						
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・補助金対象工事に係る廃棄物は国への報告事項であり、廃棄物の種類や量を把握し、法令に従い適切に処理している。											11.6	12.4		14.1			
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・電力などの使用量を把握し、効率的な運用を検討・実施している。 【予定】温室効果ガス排出量把握のための体制構築を検討する。										7.3				13			
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・走行中の電車では再生電力を利用することにより、使用電力を削減し、間接的に温室効果ガス排出抑制につなげている。 ・デマンドコントロールの導入により、建物室内の空調機の使用電力を効率的に管理し、温室効果ガスの排出を抑制している。 【予定】温室効果ガス排出量把握のための体制構築を検討する。										7.2 7.3			12.4	13.3			
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握・特定し、適切な使用および使用量の抑制に努めている。									3.9		6.3		11.6	12.4			
	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・自社のサービス自体がエコ通勤促進による温室効果ガスの低減に貢献するものであり、間接的に生物多様性や生態系への影響を抑制している。										6.6					15		
	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・社内全体で紙・プラスチック製品の使用量削減に取り組んでいる。 ・社内文書類は再生紙使用を優先し、廃棄時には古紙リサイクルを推進している。 ・ながのエコサークル「シルバーランク」取得済み。 ・総務部で全体の使用量を管理し、各拠点ではこまめな節水を意識することにより、効率的利用に取り組んでいる。													12.5		14.1		
	<input type="checkbox"/>	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・総務部で全体の使用量を管理し、各拠点ではこまめな節水を意識することにより、効率的利用に取り組んでいる。										6.4 6.6							

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・環境に配慮した事業形態ではあるものの、環境マネジメントシステムの取得予定は無い。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後、必要に応じ対応を検討する。													12.6					
20	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・回生ブレーキ搭載車両を導入し生み出した電力を力行中の他の電車が消費するほか、自動式回生電力吸収装置(回生INV)により吸収した電力を駅舎や踏切保安設備などへ供給し再利用している。 ・自社の遊休地やビルを活用し、太陽光発電スペースを提供している。							7.2							13				
21	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15		
22	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンス基本方針などの行動規範にこれら禁止する旨を定め、研修実施により社内に周知している。																	16	16.5
23	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンス基本方針などの行動規範にこれら関与しない旨を定め、研修実施により社内に周知している。																		16
24	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・コンプライアンス基本方針などの行動規範を基にした研修実施により、保護意識向上に取り組んでいる。									8.2	8.3	9							
25	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・管理方法は取扱規程に定め、適切に運用している。 ・コンプライアンス基本方針などの行動規範を基に研修を行なうなど、社内周知を徹底している。																		16
26	<input type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の取り扱いはない。																		16
27	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後、必要に応じ対応を検討する。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	<input type="checkbox"/>	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・鉄道事故防止対策会議を定期的開催し、想定されるリスクを洗い出すとともに適切な対策を講じている。 ・乗務員研修(2ヶ月1回)や総合防災訓練(年1回)を実施し安全性を担保するほか、各職場においてPDCAを活用した安全性の向上に努めている。			3.9										12.4					
29	<input type="checkbox"/>	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・CS通信を発行し意見やクレーム情報などを共有し再発防止に役立てるほか、各種研修を行ない、より良いサービスの提供を目指している。											9							
30	<input type="checkbox"/>	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・省エネ車両の導入済み。 ・デマンドコントロールを導入し空調機の使用電力を抑制している。						6							12	13	14	15		
31	<input type="checkbox"/>	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・免許返納者や子供などの交通弱者と呼ばれる方々にとって公共交通が利用しやすくなるサービスを提供するとともに、新たなサービスの開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・車庫見学会を開催するほか、地域イベントへの積極的な参加や協議会へ出席し、地域における事業の影響を把握し検討・改善している。 ・地域の要望を踏まえ、駅の利便性を向上させている。				4					9		11	12		14	15				17	
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・駅前の清掃活動への参画や駅構内および周辺の美化活動を地域の方々とともに実施している。 ・学生の職場体験を積極的に受け入れている。				4							11				14	15				17
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している	チャレンジ	・駅ナカ商店において地域の品をアピールしている。 ・ワインバレー列車などで地産地消を推進している。 ・ふるさと会を活用した地産外商の実施している。									8	9		11	12	13						
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・社是や経営理念を明文化するとともに、経営トップが経営目標などを適時社員に説明し共有している。									8	9										17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・コンプライアンスの事例などを社内に発信し啓発するほか、定期的に社内研修を実施している。 ・コンプライアンスリーダーを指名し定期的なヒアリングの共有など、コンプライアンスを推進している。																				16
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・組織規程および職務権限規程などを制定し適切に運用している。																				16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話し自社の活動の影響を把握するとともに、適切な対応を心掛けている。																			16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・安全管理体制を構築するとともに、安全マネジメントの実行計画とスケジュールを策定しPDCAサイクルによって運用・改善に取り組んでいる。																				16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・ESG経営を通じたCSRに取り組んでいる。																				16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・鉄道災害対策要綱を整備し運用している。 ・大規模訓練や定期的な訓練を実施している。										9		11			13 13.1				16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ											8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）